

○南丹市人口ビジョンについて

【問題提起】

- ・南丹市の高齢化率は府平均よりも高く、若者が流出している。

【全体的なもの】

- ・高齢化率を下げるために、若者や若い家族世帯に住んでもらう。
- ・安心して働く場の確保や移住環境、子育て支援や地域住民との関わり方が大事。

【事業提案】

- ・定住者の借家対象に3年間の賃貸料の補助、住居購入者にマイホーム補助金の交付。
- ・人口増に向けた市営住宅の建設。
- ・新光悦村に企業を誘致、生産や展示、販売によって、観光と併せて雇用に繋げる。
- ・小学校跡地への企業誘致、生産拠点としての活用。
- ・UIJ ターン増加に向けた賃貸住宅への助成金、住宅所得者には5年間固定資産税を半額にする等の独自の優待措置。
- ・働きながら子育てができる制度の確立。
保育所の休祝日の開所や21時まで預けることができる体制づくり。

○南丹市地域創生戦略について

【問題提起】

- ・交通網の整備により、わが市は立地的に優位な位置となり、企業誘致やベッドタウンとしても可能性を秘めている。

【全体的なもの】

- ・定住、一時に関わらず、移住者の希望を聞いて検討する。
- ・南丹市の魅力、強み、弱み、ウリを抽出し、まちづくりの明確な目標を掲げる。
- ・市内にある5つの大学を地域資源として利用する。
- ・若者が市内で仕事ができる場を提供し、ゆとりある暮らしの実現と子育てしやすい環境の整備。
- ・今後の高齢化の進行を見据え、福祉の充実化や施設の設置、医療機関の充実等、老後も安心して暮らせる場の提供。
- ・土地の有効利用のために、農地や林地の利用者を増加。大規模農業の導入。

【事業提案】

- ・移住希望者と空き家の家主が参加してイベントを開催。

「第1回南丹市地域創生会議」
意見提案書のまとめ

- ・都市住民を対象に、体験農園などの就農支援対策。徹底したPR。
定住宅の確保、研修受入れ農家の確保、指導体制の確立、
補助金を活用した年間所得補償、農具・生産資材等のリース制度の設定。
- ・市内の若者に市内企業に就職した場合の特典を与える。
- ・農林業においても、就農等を希望している若者や他地域からの転入者にも、農地の無償貸与システムや住居斡旋等の対応が必要。